

JBAバイオエンジニアリング研究会講演会

ワクチン製造に関する最新のバイオエンジニアリング

日 時: 2012年1月20日(金) 13:00 ~ 18:05 (交流会 18:10 ~ 19:30)

場 所: 東京大学工学部11号館講堂 (東京都文京区本郷7-3-1, 最寄駅地下鉄: 丸の内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅、南北線 東大前駅)

参加費: 講演会 JBA会員・協賛学会会員3000円、非会員10000円、学生無料

交流会 一般 3000円、学生ワンコイン(500円)

協 賛: 日本化学会、日本生物工学会、化学工学会バイオ部会、東京大学グローバルCOE

プログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション」(いずれも予定)

感染症対策に最も実効のある予防接種が、副作用リスクとの天秤において揺れている。製造技術も、より安全で速やかな供給に対応することを目的に、進歩を続けている。その現況を、行政の立場から俯瞰するとともに、インフルエンザをはじめとするワクチンに対するわが国の今後の方向性を概観し、バイオエンジニアリングの重要性を示したい。DPTワクチン(バクテリア)、B型肝炎ワクチン(酵母)、日本脳炎ワクチン(細胞培養/マイクロキャリア)、インフルエンザワクチン(鶏卵法)、子宮頸がんワクチン(昆虫細胞法)等、実用化されているワクチン生産プロセスについて整理し、精製プロセスも含めた、ワクチン製造プロセス全体に必要な最新のGMP、シングルユース機器など、最新の技術情報についても取り上げ、日本におけるワクチン製造技術の現状と将来を展望する講演会を開催する。

プ ロ グ ラ ム

- 13:00-13:10 挨拶 バイオエンジニアリング研究会会長 東京大学大学院工学系研究科 教授 長棟 輝行
- 13:10-13:50 「ワクチン製造のレギュレーションと細胞培養法によるワクチン生産の世界および日本の動向」(仮) 国立感染症研究所インフルエンザ研究センター室長 板村繁之
- 13:50-14:30 「種々のワクチン製造プロセス」
(株)IHIプラントエンジニアリング 医薬・ファインケミカル事業部 主席技監 菅谷和夫
- 14:30-15:10 「細胞培養法によるワクチン生産プロセス1 ~ CHO細胞培養から細胞培養のポイントについて考える ~」 徳島大学 ソシオテクノサイエンス研究部 教授 大政健史
- 15:10-15:20 【休 憩】
- 15:20-15:50 「細胞培養法によるワクチン生産プロセス2 ~ マイクロキャリア培養法について ~」(仮)
(一財)化学及血清療法研究所 菊池研究所 試作研究部 試作研究第2課 主任研究員 西山清人
- 15:50-16:30 「細胞培養法によるワクチン生産プロセス3 ~ 昆虫細胞を用いたウイルス様粒子ワクチンの生産 ~」 神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻 教授 山地秀樹
- 16:30-17:00 「ワクチンの精製プロセスについて ~ 課題とソリューション ~」 GEヘルスケア・ジャパン(株)
ライフサイエンス統括本部 バイオプロセス事業部 技術営業課 テクニカルエキスパート 福澤時秀
- 17:00-17:30 「ワクチン製造プロセス開発に関する改訂無菌操作法指針の要件」
ザルトリウス・ステディム・ジャパン(株)マーケティング部部長 原 芳明
- 17:30-18:00 「ワクチン製造各工程におけるシングルユーステクノロジーについて」
メルク(株)メルクミリボア事業本部 プロセスソリューションズ事業部 キーアカウントマネージャー 元木公秀
- 18:00-18:05 おわりに バイオエンジニアリング研究会 副会長 千葉大学大学院工学研究科 教授 関 実

懇親会 (東京大学工学部2号館展示室) 18:10 ~ 19:30

参加ご希望の方は、名前、所属、連絡先、交流会参加の有無を、JBA・HP (www.jba.or.jp)

または FAX(03-5541-2737) にてお知らせ下さい。参加費は当日受付にてお支払い下さい。

参加申込み締切り: 1月18日(水)/申込み多数の場合は早めに締切ることがございます。

申込み・問合せ先: (一財)バイオインダストリー協会 バイオエンジニアリング研究会

(担当: 穴澤、矢田) TEL 03-5541-2731